横浜天声キリスト教会　週報　第 18 巻 23 号（No.695）　2023 年 6 月 4 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　創世記 1:1-4 ・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 171番　はとのごと降る
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 8番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 179番　良き知らせを
礼拝のための祈り ・・・・・・・ 成田エクレシア：浪川執事　天声：小林伝道師
聖餐式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 281番　しみもとがも
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・・ 神の「良し（トーブ）」をもたらす者(創世記 1:31)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 399番　さかえの王にます主の
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった。すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。この言に命があった。そしてこの命は____の光であった。光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。すべての人を照すまことの光があって、世にきた…彼は世にいた。そして、世は彼によってできたのであるが、世は彼を知らずにいた。彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受けいれなかった。しかし、彼を受けいれた____、すなわち、その名を信じた____には、彼は神の子となる力を与えたのである。____は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。そして言は肉体となり、____のうちに宿った。____はその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまことに満ちていた。(ヨハネ 1:1;9-14)

メッセージ概要

「そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ。それは非常によかった。こうして夕があり、朝があった。第六日。」(創世記 1:31)　6月のカレンダーの聖句はこれである。神はこの世を創造される時、第一日、第二日と段階を踏んで創造されたが、その都度、神は、見て感じた事を、「良し」と言って表明して来られた。 そして第六日目、それまで段階を踏んで創造して来られた世界の中に、ご自身に似せて造られた「人」が収まり、人が自然界と調和し、機能し、活動し初めたのをご覧になられた時、神は「素晴らしい、素晴らしい！」と感嘆して、大喜びされた。それが、今回の箇所である。同様に私たちも、主の御手のわざと、その恩恵を体験し、感じる都度、「すごい」「すばらしい」という、感謝の感嘆詞を主に捧げ、栄光と賛美を捧げるべきだ。その喜びの感嘆詞を捧げる都度、神は栄光をお受けになるからだ。

神がお造りになった全てのものは、「良し」であるが、**人が神の言葉から離れて行う事は、全て罪**である。「罪」をあらわすギリシヤ語・ハマルティアの意味は「的外し」で、「罪」のヘブライ的意味は、神の秩序を割る事である。つまり「罪」とは、「真理」という的の中心である御言葉から外れた全てであり、また神の御言葉という秩序を割って行う全てである。今、この世界が「良し」ではなくなってしまった理由は、まさに、本来なら真理の御言葉によって世を支配すべき人間が、真理から離れ、神の秩序を割っているからに他ならない。
私達は、人の罪に疲れた時、自然豊かな所に行って、神の御手によって創られたものを見ると、心が和み、癒やされるが、私達自身も、神の「はなはだ良し」を回復し、人に慰めをもたらす者になる事ができる。

「良し」に満ちた世界は元々、神の言葉によって創造された。それなら、良いものを実らせる唯一のものは、神の言葉である。私達の中に御言葉が入る時、すなわち、私達の内に、「良し」の根源である御言葉を摂り入れれば、摂り入れる程、神の「良し」が適用され、「良し」をどんどん実らせる者となって行く。
そうして、あらゆる場面で、信仰を混ぜて神のことばを宣言するなら、周囲を「神の良し」へと塗り替えていく。
「良し（トーブ）」とはパーフェクト、ビューティフル、グッドである。私達が神の言葉を摂り入れ、テフィリンし、神の言葉に支配された行動パターンを形成して行くなら、その人生はパーフェクト、ビューティフル、グッドをどんどん産出して行く。神は本来、人をそのように創られ、そのように夕と朝を繰り返していくべきだった。

ヘブライ的概念では、夕の後に朝がある。闇の後に光がある。世の概念は「光の後に闇が来る」、であり、神を離れた人の人生は皆、最初は光、後に闇である。人が自分勝手な「光（אוֹרオール）」をつくるなら、それは自分自身を焼き尽くす「シン(ש)」がついて「シェオール(שְׁאוֹל陰府)」となってしまう。(イザヤ 50:10-11)
もし私達に闇があるなら、あるいは混沌があるなら、自分勝手なともしびを焚くのではなく、神の「光あれ」という御言葉を信仰を混ぜつつ発するのだ。私達が神の御言葉を信仰によって摂り入れ、宣言するなら、神の「良し（トーブ）」が発動する。だから私達は、積極的に御言葉を摂り入れ、暗唱し、宣言すべきなのだ。

神はご自身で創造された一つ一つのものに機能を与え、それぞれが活動する期間を与え、そして各々に与えられた機能の通りに動くように、と、法則を与えて下さった。私達はこの、神の秩序、神のトーブをもたらす者、すなわち「神の似姿」として生きていくべきである。神の秩序は、しっくりするもので、安心感があり、生産的で、美しく、満ち足りており、人が「良い」と見えるものである。そのような物事にこそ、心を留め、また留まるべきである。神の創造の力を内包している「御言葉」を宣言する人は、世に、神のトーブをもたらし、破壊されているところに神の再創造をもたらす。病んでいる所には癒やしをもたらし、不足な所には充足をもたらして行く。これは全て、死をいのちで飲み込む神の言葉を宣言する事によって、成される。

それ故私達は、御言葉に対し、また神の御旨に対して、無感覚な者、恩知らずな者になってはならない。私達は、神が創造してくださったこの世界に、神様に似せて造られた者としての自覚を持って、生きるべきだ。人の罪にまみれたこの世の中、トーブを創造する力が充満している御言葉を摂り入れ、宣言し、神の「はなはだ良し」を回復する者、人に慰めや癒やしをもたらす者として、神の統治を為し、神の光を照らし、神の秩序をもたらして行く私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 23 号　　2023 年 6 月 4 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp